

「21世紀かながわ円卓会議」これまでのトータルテーマとプログラム

<第1～6次シリーズまでのトータルテーマとモデレーター>

開催年度	トータルテーマ	モデレーター
第1次（3ヵ年）2000～02年度	グローバル化	鈴木佑司（第1回） 樺山紘一（第2・3回）
第2次（〃）2004～06年度	21世紀を構築する	樺山紘一
第3次（2ヵ年）2008・09年度	新しい都市と地域	神野直彦
第4次（〃）2010・11年度*	コミュニティが育む人間性	神野直彦
第5次（〃）2012・13年度	地域力	神野直彦
第6次（〃）2014・15年度	地域社会を活性化させる民主主義	神野直彦
第7次シリーズ（2016・17年度）では「神奈川のコミュニティとグローバル化」をトータルテーマとして開催予定		

※10年度は東日本大震災により開催中止

【第1次】21世紀かながわ円卓会議（2000～02年度／全3回）

開催時期	トータルテーマ 「グローバル化」
2001年 2月	「グローバル化と新しい価値観」 趣旨説明 鈴木佑司（法政大学教授） 第1セッション「グローバル化に対応する新しい価値観と倫理観の創出」 樺山紘一（東京大学教授）／鈴木佑司（法政大学教授） 第2セッション「アジア的価値観の貢献は可能か」 福原義春（かながわ学術研究交流財団理事長）／川勝平太（国際日本文化研究センター教授） 第3セッション「文化の接触と変容から見た近代アジア」平野健一郎（早稲田大学教授）
2002年 2月	「グローバル化の進展と市民社会の役割」 趣旨説明 樺山紘一（国立西洋美術館長） 第1セッション「アジアの状況をどう見るか」小島朋之（慶應義塾大学教授） 第2セッション「グローバル化とイスラム社会」片倉もとこ（中央大学教授） 第3セッション「アメリカの世界観とアメリカ市民社会のゆくえ」五十嵐武士（東京大学教授） 第4セッション「21世紀と新しい市民社会の進展」福原義春（かながわ学術研究交流財団理事長） 第5セッション「グローバル化とローカリゼーション再考」鈴木佑司（法政大学教授）
2003年 3月	「グローバル化のゆくえと日本」 趣旨説明 樺山紘一（国立西洋美術館長） 第1セッション「途上国の自立と調和的な世界経済システム」原洋之介（東京大学教授） 第2セッション「宗教とナショナリズム」小杉泰（京都大学大学院教授） 第3セッション「グローバルガバナンス」毛利勝彦（横浜市立大学助教授） 第4セッション「地球社会の針路と日本」福川伸次（株式会社電通顧問・地球産業文化研究所顧問）

⇒アジアの中の日本、イスラム世界と他の文明地域との共存、国境を超える経済活動の進展などのテーマを中心に、政治学、社会学、哲学、文化人類学など多様な分野の研究者や文化人が討議。

【第2次】21世紀かながわ円卓会議（04～06年度／全3回）

開催時期	トータルテーマ 「21世紀を構築する」
2005年 3月	<p>「超大国のゆくえと日本の対応」</p> <p>趣旨説明 榑山紘一（国立西洋美術館長）</p> <p>基調講演「超大国の責任と限界—21世紀の世界のガバナンス」明石康（元国連事務次長）</p> <p>第1セッション「アメリカの実像—世界戦略は変わるか」五十嵐武士（東京大学教授）</p> <p>第2セッション「台頭する勢力Ⅰ—中国・インド」 田島英一（慶應義塾大学助教授）／竹中千春（明治学院大学教授）</p> <p>第3セッション「台頭する勢力Ⅱ—ロシア・EU」 袴田茂樹（青山学院大学教授）／羽場久泥子（法政大学教授）</p> <p>第4セッション「日本はいかに対応すべきか」 船橋洋一（朝日新聞社編集委員）／福川伸次（株式会社電通顧問）</p>
2006年 3月	<p>「世界を走る亀裂—グローバル化に何ができるか」</p> <p>趣旨説明 榑山紘一（東京大学名誉教授・印刷博物館館長）</p> <p>基調講演「世界を走る亀裂—不公平に世界はどう立ち向かうか／大学の役割」 ハンス・ファン・ヒンケル（国際連合大学大学長）</p> <p>セッション1 「世界の公正の現状」藤原帰一（東京大学大学院教授）</p> <p>セッション2 「環境保全か経済開発か—環境と貧困の悪循環をどう抜け出すか」 諸富徹（京都大学大学院助教授）</p> <p>セッション3 「民主主義と人権」伊豫谷登士翁（一橋大学大学院教授）</p> <p>セッション4 「教育・文化の断層を超えるために」竹中千春（明治学院大学教授）</p> <p>セッション5 「格差に向き合う思想」福川伸次（機械産業記念事業財団会長）</p>
2007年 3月	<p>「地球と地域との協働の道—社会関係資本を組み立てる」</p> <p>趣旨説明 榑山紘一（東京大学名誉教授・印刷博物館館長）</p> <p>基調講演「文化の原動力」大岡信（詩人、文化功労者、文化勲章受章者）</p> <p>セッション1 「文化は世界をつなぐ」大原謙一郎（大原美術館理事長）</p> <p>セッション2 「グローバリズムの可能性と限界」藤原帰一（東京大学大学院教授）</p> <p>セッション3 「グローバル化と地域の持続可能な発展の可能性」諸富徹（京都大学大学院助教授）</p> <p>セッション4 「神奈川県土地利用から見る21世紀社会」小林重敬（横浜国立大学教授）</p>

⇒グローバル化の潮流に着目しつつ、徐々にその光と影の両面について掘り下げるようになる。
第2次シリーズを締めくくる2007年3月開催の円卓会議では、最後のセッションにて「神奈川」とい
う地域の視点からの展望を語る。

【第3次】21世紀かながわ円卓会議（08・09年度／全2回）

開催時期	トータルテーマ 「新しい都市と地域」
2009年 3月	<p>「都市と地域の未来を拓く～まちづくり・ものづくり・ひとづくり～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆趣旨説明&問題提起 「人間性回復のための地域社会づくり」 神野直彦（東京大学大学院経済学研究科教授） ◆まちづくりセッション 「環境と経済と社会の統合～サステイナブル・シティの挑戦～」 岡部明子（千葉大学大学院工学研究科准教授） ◆ものづくりセッション 「伝統を現代に生かす知恵産業の未来」 村山裕三（同志社大学大学院ビジネス研究科教授） ◆ひとづくりセッション 「人のつながりを豊かにするアートイベント」 北川フラム（アートフロントギャラリー代表取締役） ◆自治体からの提言セッション 「地域を拓く『文化力』」 野呂昭彦（三重県知事） ◆自治体の現状と今後の展望セッション 「地方都市が独自の文化を築くための5つの鍵」 榛村純一（前掛川市長） 「目に見えないものを目に見えるかたちにするまちづくり」 露木順一（開成町長）
2010年 3月	<p>「築かれる都市と地域の未来～人の絆・文化の絆を紡ぐ～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆問題提起 「この国のあり方 この国のかたち」 野呂昭彦（三重県知事） ◆趣旨説明 「人の絆・文化の絆が育む地域社会の未来」 神野直彦（関西学院大学大学院教授） ◆セッション1「生活と絆」 「町民の生活文化と志がかたちになるまちづくり」 寺谷誠一郎（鳥取県智頭町長） 「自分たちのまちを自分たちでつくる“地域分権”へ」 倉田薫（大阪府池田市長） ◆セッション2「地方分権の未来」 「神奈川力を高め、新たな時代を創造する」 松沢成文（神奈川県知事） 「文化力で築く“ふじのくに”」 川勝平太（静岡県知事） ◆セッション3「産業と絆」 「地域独自の生活様式が育む『創造の場』」 佐々木雅幸（大阪市立大学大学院教授） 「都市経営の視点で創造都市戦略を展望する」 野田由美子（横浜市前副市長） ◆セッション4「学びと絆」 「いま、教育がなしうること」 広田照幸（日本大学文理学部教授） 「ひとを育てるまち／まちを創るひと」 清原慶子（東京都三鷹市長）

⇒グローバル化の影の部分である、生活様式の画一化や地域の独自性・多様性が損なわれつつある地域社会を念頭に置いて、今後、求められる「都市と地域」の役割についてディスカッション。

⇒第3次円卓会議から、運営委員会方式による企画検討を行っている。

<21世紀かながわ円卓会議・運営委員会（2017年4月現在）>

- 小川 泰子（社会福祉法人いきいき福社会理事長）
- 樺山 紘一（印刷博物館館長／東京大学名誉教授）
- 黒田 玲子（東京理科大学研究推進機構総合研究院教授／東京大学名誉教授）
- 高島 肇久（株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長）
- 林 義亮（神奈川新聞社取締役編集・NIE担当論説主幹）

【第4次】 21世紀かながわ円卓会議（10・11年度／全2回）

開催時期	トータルテーマ 「コミュニティが育む人間性」
(2011年 3月)	<p>「ひとを育むまちをつくる～成熟社会かながわへ～」 ※東日本大震災により開催中止</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◆趣旨説明 「人間を高める地域社会の創造」 神野直彦（東京大学名誉教授） ◆ダイアログ 奥山恵美子（仙台市長）／諸富 徹（京都大学大学院経済学研究科教授） ◆セッション1「地域力で育む教育」 竹原和泉（横浜市立東山田中学校コミュニティハウス館長）／佐藤晴雄（日本大学文理学部教授） ◆セッション2「地域力で育む医療」 沢田貴志（横浜・港町診療所所長）／色平哲郎（JA長野厚生連・佐久総合病院地域医療部医師） ◆セッション3「地域力が育まれるコミュニティの姿」 斉藤 保（港南台タウンカフェ代表）／西村幸夫（東京大学先端科学技術研究センター教授） ◆総括セッション 平井竜一（逗子市長）
2011年 11月	<p>「新しいかながわを築く～コミュニティを支える医療・教育・文化～」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◆趣旨説明 神野直彦（東京大学名誉教授） ◆セッション1「地域主権の医療～命の格差に向き合う地域医療～」 講 師：色平哲郎（JA長野厚生連・佐久総合病院地域医療部医師） 冒頭発言：町田宗仁（厚生労働省 相双地域医療従事者確保支援センター） ◆セッション2「学校と地域を結ぶ防災教育～地域から未来をつくる～」 講 師：佐藤晴雄（日本大学文理学部教授） 冒頭発言：竹原和泉（横浜市立東山田中学校コミュニティハウス館長） 小澤光男（横須賀市消防局消防救急課長） ◆セッション3「地域文化を育む～歴史・伝統を受け継ぐ～」 講 師：赤坂憲雄（学習院大学文学部教授／福島県立博物館長） 冒頭発言：飯島重一（三浦市教育委員会生涯学習課主任） ◆セッション4「新エネルギーの時代へ～東日本大震災後の社会の行方～」 講 師：黒岩祐治（神奈川県知事） 講 師：飯田哲也（特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所所長） ◆総括セッション 冒頭発言：落合克宏（平塚市長）

⇒これまでの議論を引き継ぎ、地域社会のあるべき姿について、神奈川での取組みも参照しながら、コミュニティのもつ多様な機能についてディスカッション。

⇒2011年3月開催予定であった第4次シリーズ第1回は、開催日1週間前に発生した東日本大震災により中止。

【第5次】21世紀かながわ円卓会議（12・13年度／全2回）

開催時期	トータルテーマ 「地域力（community capacity）」
2012年 12/15・16 (土・日)	<p>「地域力を鍛える ～“分かち合い”で築くかながわの未来～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆趣旨説明 神野直彦（東京大学名誉教授） ◆基調講演『みんなの家』に込められた思い 伊東豊雄（建築家） ◆話題提供①「地域力を育む “分かち合い”のかたち」（医療／福祉／環境） 鷲尾公子（NPO 法人ぐるーぷ藤・理事長） 酒井太郎（「さかい内科・胃腸科クリニック」院長） ◆話題提供②「地域力をいかに養い、受け継いでいくか」（教育／文化／地域づくり・自治） 池田雅之（NPO 法人鎌倉てらこや理事長） 岡部友彦（コトラボ合同会社代表社員） ◆ダイアログ「私が理想とする地域の姿」「地域力をいかに養い、受け継いでいくか」 ファシリテーター：森 高一（NPO 法人日本エコツーリズムセンター世話人） ◆対談「地域力を鍛えるための鍵は？」 西村幸夫（東京大学副学長・教授）×伊東豊雄 司会：樺山統一
2013年 11/9・10 (土・日)	<p>「地域力をいかに育てるか ～“分かち合い”で築くかながわの未来Ⅱ～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆趣旨説明 神野直彦（東京大学名誉教授） ◆講演①「村民とともに歩む地域づくり～子ども・若者が元気な村に」 伊藤喜平（長野県下條村長） ◆講演②「新しい地域自治～地域の課題を地域で解決するために」 平井竜一（逗子市長） ◆基調講演 「生きている共同体とは何か～関係を生み出す社会デザインを考える」 内山 節（哲学者） ◆話題提供①子ども：多様なかわりによる子どもの育成 奥山千鶴子（NPO 法人びーのびーの・理事長） ◆話題提供②高齢者：地域全体としてのケアを支える側／支えられる側からの脱却 加藤忠相（小規模多機能型居宅介護事業所おたがいさん代表者） ◆ダイアログ「地域力を育てるビジョンづくり」 ファシリテーター：世古一穂（NPO 研修・情報センター代表理事） ◆対談「地域力を育てる鍵は？」 早野 透（桜美林大学教授）×高島肇久（日本国際放送特別専門委員）

⇒地域福祉や子育て・教育などさまざまな機能をもつコミュニティを育む活動主体に着目し、県内の事例も参考にしながら、多様な「コミュニティを担う主体」や「地域力」を育てるために求められるものについてディスカッション。

【第6次】21世紀かながわ円卓会議（14・15年度／全2回）

開催時期	トータルテーマ 「地域社会を活性化させる民主主義」
2014年 9/20・21 (土・日)	<p>「多様性豊かな地域社会を自分たちで育てるには」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆趣旨説明 神野直彦（東京大学名誉教授） ◆基調講演「対話で切り拓く地域の未来～リーダーシップのあり方は？」 嘉田由紀子（前滋賀知事） ◆事例報告①少子高齢化—高齢者を地域全体で見守る 鈴木恵子（ボランティアグループすずの会・代表） ◆事例報告②こども・若者支援—世代間格差を超えて将来世代を育む 江成卓史（NPO法人子育ちの里 食と遊 副理事長／葉山にこここ保育園） ◆事例報告③多文化共生—多国籍・多世代が住みやすい地域づくり 三浦知人（社会福祉法人青丘社／川崎ふれあい館館長） ◆対談「次世代の担い手を育むために～政治家の視点・科学者の視点」 平井竜一（逗子市長）× 黒田玲子（東京大学名誉教授） ◆ダイアログ「対話から生まれる地域の未来～あなたが住みたい神奈川は？～」 ファシリテーター：木村乃（ビズデザイン株式会社代表取締役）
2015年 11/14・15 (土・日)	<p>「市民がともに学び、分かち合い、つくるまち～参加型の民主主義へ～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆趣旨説明 神野直彦（東京大学名誉教授） ◆基調講演 「民学産公の協働」と「参加型民主主義」～三鷹市の取組みから～ 清原慶子 東京都三鷹市長 ◆討議〈冒頭発言〉 林 義亮 神奈川新聞社取締役論説主幹 <p><u>民主主義的な自治への挑戦～自治体の取組から～</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆講演① 住民参加と行動の場づくり～身近な自治を活かす 速水雄一 島根県雲南市長 ◆講演② 多様な意見で紡ぐ計画づくり～幅広い世代の声を活かす 加藤憲一 小田原市長 ◆講演③ 多文化共生を目指す提言づくり～マイノリティの声を活かす 中村ノーマン 外国籍県民かながわ会議・委員長 ◆コメント 宮本太郎 中央大学法学部教授 <p><u>パネルディスカッション 自分たちのまちを自分たちでつくるために</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆都市内分権ショートレクチャー 名和田是彦 法政大学法学部教授 ◆ずしの新しい地域自治 細野 裕 逗子市市民協働部市民協働課専任主査 ◆新たな地域コミュニティ「まちぢから協議会」の取り組み 廣瀬友徳 茅ヶ崎市総務部市民自治推進課課長補佐 <p>◆ダイアログ「<u>地域生活のプロとしての市民になろう！</u>」 ファシリテーター：川北秀人（IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者）</p>

⇒市民一人ひとりが抱く地域への想いをそれぞれ尊重しながら、豊かなコミュニティづくりを目指して、いかに多様な声を掬い取ることができるのか、そして、それをどのように一つのかたちとして実らせていくことができるのかについて、自治体の制度も参考にしながらディスカッション。

【第7次】21世紀かながわ円卓会議（16・17年度／全2回）

トータルテーマ 「神奈川のコミュニティとグローバリゼーション」	
2016年度全4回シリーズ	
①	<p>【キックオフ講演会】 6/2（木）@神奈川中小企業センター（関内）</p> <p>「社会的包摂で新しいコミュニティをつくる～困窮と孤立を超えて～」</p> <p>基調講演：宮本太郎（中央大学法学部教授）</p> <p>事例報告：鈴木晶子（一般社団法人インクルージョンネットかながわ代表理事）</p> <p>司会：榊山紘一（印刷博物館館長／21世紀かながわ円卓会議運営委員）</p>
②	<p>【テーマ別フォーラム①】 8/24（水）@横浜情報文化センター</p> <p>「格差・貧困の拡がりとは家族・コミュニティのあり方～県内自治体での実践を踏まえて～」</p> <p>講師：片山睦彦（藤沢市福祉部長）</p> <p>石黒知美（鎌倉市健康福祉部市民健康課長）</p> <p>司会：小川泰子（社会福祉法人いきいき福祉会専務理事／21世紀かながわ円卓会議運営委員）</p>
③	<p>【テーマ別フォーラム②】 11/11（金）@湘南国際村センター第6研修室</p> <p>「コミュニティの担い手になるために～制度的な課題を考える～」</p> <p>講師：名和田是彦（法政大学法学部教授）</p> <p>「事例報告／小田原市における地域コミュニティ組織の取り組み」</p> <p>講師：府川悟志（小田原市市民部地域政策課長）</p> <p>司会：林 義亮（神奈川新聞社取締役編集担当論説主幹／21世紀かながわ円卓会議運営委員）</p>
④	<p>【総括シンポジウム】 11/12（土）@湘南国際村センター国際会議場</p> <p>「分断社会から、all for all の社会へ～『創る』民主主義の時代～」</p> <p>基調講演：井手英策（慶應義塾大学経済学部教授）</p> <p>「藤沢型地域包括ケアシステムと支えあいの地域づくり ～マルチパートナーシップでつながる人と地域～」</p> <p>講師：鈴木恒夫（藤沢市長）</p> <p>司会：高島肇久 （株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長／21世紀かながわ円卓会議運営委員）</p>
2017年度全3回シリーズ	
①	<p>【講演会】 6/17（土）@横浜市技能文化会館</p> <p>「私たちはいかにして分断を超えられるのか～障害者福祉・ヘイトスピーチ・生活保護から考える」</p> <p>基調講演：井手英策（慶應義塾大学教授）</p> <p>パネルディスカッション： 名里晴美（社会福祉法人訪問の家理事長）、三浦知人（社会福祉法人青丘社事務局長） 小川泰子（社会福祉法人いきいき福祉会理事長／21世紀かながわ円卓会議運営委員） 司会：林 義亮（神奈川新聞社取締役編集・NIE担当論説主幹／21世紀かながわ円卓会議運営委員）</p>
②	<p>【企画会議】 7/30（日）@横浜情報文化センター</p> <p>「分断を超えたコミュニティを育む市民社会のかたち」</p> <p>講師：馬場拓也（社会福祉法人愛川舜寿会ミノワホーム常務理事） 早川仁美（地域のお茶の間研究所さろんどて）</p>
③	<p>【シンポジウム】 11/11（土）@湘南国際村センター（葉山町）</p> <p>「かながわから始まる all for all の社会（仮）」 モデレーター：井手英策（慶應義塾大学教授）</p>

⇒貧困の拡がりというグローバリゼーションによる負の側面によって、地域社会にはどのような影響もたらされ、どのようにそれに立ち向かうべきなのか、県内のさまざまな取り組みを参考にしながら議論を展開。また開催形式については第7次円卓会議から、個別の議論を深めるために連続シリーズ方式に転換。